

# これからの オリンピック・パラリンピックの あり方を問う —コロナ禍、人権問題とスポーツ—

共催

新日本スポーツ連盟附属スポーツ科学研究所  
2020 オリンピック・パラリンピックを考える都民の会

期日

2021年1月15日(金)

18:00～20:00 (17:00 受付開始)

シンポジスト

**佐伯年詩雄 氏**

(日本ウェルネススポーツ大学教授/  
筑波大学名誉教授)

**和食昭夫 氏**

(2020 オリンピック・パラリンピックを考える  
都民の会共同代表)

現在のオリンピック・パラリンピック運動は、多くの矛盾や課題を抱え込んでいる。新型コロナウイルス感染症が収束するという科学的根拠もないまま、2021年夏に開催できるのか。Black Lives Matter運動の高揚の中で政治的、宗教的、人種的な宣伝活動を禁じる五輪憲章はどうなるのか。男性に多いホルモン・テストステロン値が生まれつき高いセメンヤ選手は、今後も女子陸上選手として競技に参加できるのか。今後のオリンピック運動の在り方について、スポーツ社会学を専門とする佐伯年詩雄氏と、2020オリパラ問題を追究する和食昭夫氏が自由に議論を展開する。

お申込み方法

下記の事務局メール（または電話・FAX）で「お名前」「メールアドレス」「電話番号」を事務局に伝えて、お申込みください。後日、Zoomの入室アドレスをお送りします。

※Zoom（パソコンやスマートフォンを使って、セミナーやミーティングをオンラインで開催するためのアプリ）を使用して、配信します。

※Webセミナーを受講するには、あらかじめZoomをパソコンまたはスマートフォンにインストールしておく必要があります。

ご不明な点がございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。

事務局メール [science@njsf.net](mailto:science@njsf.net) TEL 03-3986-5401 FAX 03-3986-5403

## — シンポジウム開催の趣旨 —

近代オリンピック運動の歴史は 120 年に及ぶ。4 年に一度の競技大会には世界中の多くの人々が魅了されてきた。参加競技者は自己の限界に挑戦して偉大な成果を残してきたし、子供たちや若者たちは、に自分も将来彼らのようなアスリートになりたいという夢を描き、その時々で大会で見られる選手同士の交流や友情物語に、人々は清々しく微笑ましい感情を呼び起こされてきた。そして、一般にあまり読まれていない「オリンピック憲章」には五項目のオリンピズムの根本原則が謳われており、これは理想型として現代のスポーツ運動全般の指針となるものであった。

しかし、現在のオリンピック・パラリンピック（以下、オリパラと略す）運動は多くの矛盾や課題を抱え込んでいる。例えば、2021 年夏に新型コロナ感染症が収束するという科学的根拠もないままに、安倍首相とバッハ会長とのトップ会談で東京オリパラの開催延長に合意してしまったこと、東京オリパラ会場がどれも巨大すぎて年間の固定資産税と維持管理費が莫大となり、しかも後利用の目処が立っていないこと、Black Lives Matter（黒人の命は大切だ）運動の高揚の中で、2028 年ロサンゼルス・オリパラ組織委員会のワッサーマン会長が、オリパラの競技会場や選手村で

政治的、宗教的、人種的な宣伝活動を禁じる五輪憲章の第 50 条の修正をバッハ会長に要請したこと、スポーツ仲裁裁判所（CAS）の裁定により、テストステロン値を下げる薬を飲まない限りキャスター・セメンヤ選手がオリンピックを含めてどの国際大会にも出場できない現状にあること、その他にもスキーマウンヒル・コース設定と環境破壊の問題、障がい者アスリートの義足、長距離走者のシューズ、スイマーの水着の素材を巡る問題、等々である。

これらの矛盾や課題をリアルに捉えて解決策を探っていくことは、国際オリンピック委員会 (IOC)、国際パラリンピック委員会 (IPC)、各国の国内オリンピック委員会 (NOC) や国内パラリンピック委員会 (NPC) にだけ課されていると考えるのではなく、我々自身にも課された課題である。

今後のオリンピック運動をどうしていくべきなのか。これからのオリンピック・パラリンピックのあり方を考えたとき、コロナ禍が沈静化して元に戻れば良いと考えるのではなく、現在抱えている矛盾や課題を解決していくオリパラの政策論が必要となっている。以上のような趣旨を踏まえて、佐伯年詩雄氏と和食昭夫氏には自由な議論を期待したい。

ご不明な点がございましたら、事務局までお気軽にお問い合わせください。

事務局 メール [science@njsf.net](mailto:science@njsf.net)

TEL 03-3986-5401 FAX 03-3986-5403